

EVER MORE
 NUMAZAWAグループ 地域とのコミュニケーション広報誌

tenth 10

Aggressive
 of
 121 years

地域とともに

NUMAZAWA Art Collection
 Presents
 2017.AUG

information エヴァモア美術館・エヴァやすらぎ竣工記念CDアルバム
 Ever More Art Museum Completion Commemorative Album

EVER MORE 美術館

Complete music album
 NUMAZAWA Music Collection 2017 edition

M1. G線上のアリア
 M2. シルクロード
 M3. 赤とんぼ
 M4. Sicilienne
 M5. 母さんの歌
 M6. 四季の歌
 M7. 糸
 M8. 見上げてごらん夜空の星を
 M9. ふるさと
 M10. 精霊流し
 M11. Gymnopédie No.1
 M12. 川の流れるように

群青
 Shijyou blue
 Ever More Art Museum
 Completion Commemorative Album

Executive producer 沼沢正則

青が集まって群青色になったように、このCDアルバムはたくさんの出会いがあって生まれました。2015年3月の震災孤児支援コンサートで姜 暁艶さんをお招きしたのが縁で広島府の平山郁夫美術館様とご縁が繋がりました。まるで東西の文化を結んだ路シルクロードのように、日本の西の広島と東の新庄の交流の道が繋がりました。

弊社の企業理念「やさしさ、人...心」とは、やさしさを持って人に接し、日本の伝統である美と心を伝える誠実な企業をめざすことです。エヴァモア美術館は著名な日本画家の作品を展示することで日本の美と心を伝えていきます。館内ではこの美しい二胡の曲を流します。アルバム完成までには音楽界の大御所平岩嘉信氏のご尽力と本当にたくさんの方々のご縁がありました。この感謝の念は新庄のみなさまに聴いていただくことでお返しに代えさせていただきます。

※オリジナルCDをご希望の方は、ヌマザワにお問合せください。

**人形・写真供養祭
 物故者慰霊祭**

12/21(木)

エヴァホール新庄
 am10:00 より人形持ち込み受付
 pm 6:00 開式

無料

※受付は当日のみとなります。前日・後日の持ち込みはできません。
 ※人形ケースやガラス・金属等は遠慮ください。
 ※本年度ヌマザワ・JAにてご葬儀されました故人様の合同慰霊祭も行います。
 ■「エヴァモア倶楽部」・「JAエヴァモア倶楽部」会員様のみの供養祭とさせていただきます。

やさしさ、人...心

エヴァモア
ヌマザワ

http://www.numazawa.co.jp

0120-52-0855

お問い合わせ 0120-52-0855

ヌマザワグループ

- 株式会社ヌマザワ 本社
 〒996-0026 山形県新庄市大町3-41
 TEL.0233-22-2137 FAX.0233-23-7566
- 株式会社医療救急サービス
- ヘルスケアショップ シープ
- エヴァホール新庄・紫陽花・すみれ
- いきいき倶楽部 シープ
- エヴァ アネックス
- エヴァモア倶楽部・JAエヴァモア倶楽部 事務局
- やすらぎファミリエ茶屋町
- お仏壇ギャラリーヌマザワ
- 民間生活支援センター・終活サロン



エヴァやすらぎ

一日一御家族だけの家族葬

初雪の便りが届くころにオープン

EVER MORE 美術館



併設する家族葬向けの式場「エヴァやすらぎ」では一日一御家族だけのお葬儀を承ります。ゆったりと落ち着いた施設で、最後のお別れの時をお過ごしいただけます。たくさんのお見送りを心ゆくまで語り合えながらお見送りいただきたいと、社員一同真心を込めて務めさせていただきます。

葬儀のない友引の日は、会場見学、事前相談、また一般開放し、多くの皆さまにご覧いただきたいと思っております。一般開放でご来館いただくお客様には、恐れ入りますが、入場料として百円ちようだいたいたします。この金額は皆さまの善意として、東日本大震災の震災孤児支援金に役立てていただくよう、全額ジェットまぎに送ります。

新庄に初雪が舞いおるころ、エヴァモア美術館でお待ちしております。

ヌマザワの企業理念「やさしさ、人…心」は、やさしさをもって人に接し、日本の伝統である美と心を伝えてゆく誠実な企業を目指しています。企業として地域の皆様が喜んでいただけるように、メセナ活動として、芸術、文化、音楽を発信していきます。その象徴的施設として、日本画の作品を展示する「エヴァモア美術館」がいよいよ今年の十二月上旬にオープンします。

日本を代表する画家、平山郁夫氏、東山魁夷氏、一流女流画家の谷村能子氏、池田啓子氏の作品を常設展示します。地元新庄、最上地区の皆様にも本物だけが放つ絵画の素晴らしさ、美しさに触れていただきたいと思います。

美術館の建物はガラス面を多用し、四季折々の豊かな自然を感じられるロケーションになります。

大切な方をお見送りしなくてはならない時、どんな慰めの言葉も心に響かないかもしれませんが、グリーンフェアの空間でお過ごしください。

▲平成29年秋オープン「エヴァモア美術館」
外観イメージパース





Numazawa Corporate Philosophy

生命への感謝

「ふるさとの情景」が 原点であり、出発点

瀬戸内海の
「群青」に
生命の美をみいだす

「天かける白い橋 瀬戸内しまなみ海道」
平山郁夫 画伯 スケッチポイントからのぞむ瀬戸内海

緑に囲まれた「平山郁夫美術館」



平山郁夫氏が生まれ育った
瀬戸内の生口島瀬戸田町に
平成九年 美術館開館



平山郁夫美術館 館長 平山助成 氏

エヴァホール新庄で、二胡の震災孤児支援コンサートを開催するめ、何度も新庄で演奏してくださった二胡演奏者の姜曉艷（ジャン ショウ イェン）さん。広島市在住のジャンさんが平山郁夫美術館とご縁をつないでくださいました。新庄市鳥越に初冬オープンする「エヴァアモア美術館」には、平山郁夫画伯の作品を多数常設展示します。広島県尾道市瀬戸田町の「平山郁夫美術館」を訪ねました。

平山助成館長

平山郁夫の生まれ故郷に美術館がある理由は、瀬戸内の青い海や緑の島々の織り成す豊かな自然が作品の原点になっていて、その原点である風景をまず見ていただいて、風土を感じ、絵を

観ていただきたいの思いです。実際に生口島を歩けば、あちらこちらにスケッチした場所があります。当館では、平山郁夫の生い立ちや貴重な少年時代の絵画などを紹介しています。当館が文化や芸術の発信基地となることを願い、また次の世代を担う子供たちの豊かな感性を創造する場を目指すというのが、この美術館に込められた平山郁夫の決意です。

沼沢正則

昨年は大変お忙しい中、わざわざ奥様と新庄にお越しいただき、また、今回、平山画伯の生まれた場所やスケッチなされた場所をたくさんご案内いただきまして、ありがとうございます。自分の目で瀬戸内の海の青、風景を観て感慨深いものがありました。生まれ故郷に美術館があり、作品を鑑賞できることに意義を感じました。

私の故郷、新庄で平山画伯の作品に
込められた平和への願い、活動を
地元の皆さまにご覧いただきたい。



株式会社ヌマザワ 代表 沼沢正則



平山館長との対談。姜 曉艷さんも駆けつけて。

Talk

Numazawa Corporate Philosophy

「ふるさと新庄の情景」が原点。 地域への感謝

新庄の
「群蒼」に
尊い生命の美をみいだす

鳥越からの鳥海山
Chokai blue



Shinjo
blue

新庄の雪
Snow blue



新庄の紫陽花
Ajisai blue



新庄の文化
Shijyou blue



EVER MORE 美術館

「群蒼」

エヴァモア美術館
121年目の出発点

エヴァモア美術館のロゴには、新庄に降る雪の結晶と鳥越から眺望できる鳥海山のシルエットを表現しています。

四季折々に季節を
肌で感じる空間で
「この絵を観てどう思う?!」
親子の会話が生まれる
平山画伯が歩んだ
シルクロード、仏教の道を
感じ、語り合っていたら
そんな美術館にしたい、
そんな葬祭会館でありたいです。

「葬祭会館になぜ美術館?」。葬祭会館は、全国に約7750軒(平成26年)あると言われています。全国展開の大手から地元の小さな会館まで、全国各地に葬祭会館はありますが、本格的に絵画を展示、鑑賞する美術館に併設した会館はないと思います。では、なぜ?それは弊社が企業理念としていたメセナ活動の一貫であり集大成でもあるからです。これまでも一流の演奏家によるコンサートで音楽に親しんでいたきながら、皆さまの善意のお志を震災孤児支援に役立ててまいりました。東京に行かなくとも新庄で音楽、芸術、文化に触れていただきたい。お葬儀で悲しみに塞いだ心を癒していただきたい。究極のサービス業である葬祭業であるからこそ、葬祭会館と美術館を併設させていきます。

群青色はまさしく「青が群れ集まる」色。新庄市の花、紫陽花の花も小さな花の集まりです。ヌマザワの皆さんの想い、(新庄、地域、お客様、美術、音楽、日本文化、儀礼、やさしさ、人：心)の集大成ともいえるのがEVER MORE 美術館です。清らかな純白の雪の結晶と鳥海山のシルエット、そして、ロゴタイプの基調色は群青色です。地域の皆さんの想い、希望、ご支援と弊社が思いがいつしよに集まって、紫陽花が大輪の花を咲かせる、そんな美術館にしていきたいと思っています。





蓮の花をもつ水月観音



水辺に座す水月観音



龍にのる水月観音



祈る水月観音

水月観音

「エヴァモア美術館」常設

すいげつかんのん

水月観音の像は、巖の上に座し、空の月を見上げるか、水面に映る月をみつめる姿で描写・造形されています。空の月と水に映る月は、仏とその垂迹（化身）や、仏と信徒への加護、といった関係性の象徴として語られ、水面の月は世界の万物には「実体」が無いという「空」を説明する際にも譬えとして用いられました。慈愛に満ちた優美なお姿をご覧ください。



鑑定書

繊細な美の世界

「エヴァモア美術館」オープン記念

日本画女流二人展

華

常設展

日本は四季折々に美しい風景や花々が季節を彩ってくれます。日本画は、日本人の感性にあった繊細な色使いで観るものを魅了します。男性の多い日本画壇のなかで、女性画家として活躍の谷村能子氏と池田啓子氏の作品を展示します。両氏とは二十年来のおつきあいの中で、エヴァモア美術館の主旨をご理解いただき、新庄の皆さまが作品を鑑賞して下さることを喜んでおられます。間近でご覧いただければ、絵の美しさに感動していただけると幸いです。



桔梗



秋宵

- 谷村 能子氏 略歴
- 1984年 創画展「秋止瀟」初入選
 - 1986年 川端龍子賞展入選
 - 東京セントラル美術館日本画大賞展入選
 - 1987年 青垣2001年日本画展入選
 - 1988年 川端龍子賞展「蓮池」優秀賞受賞
 - 東京セントラル美術館日本画大賞展招待出品
 - 1993年 大阪なんば高島屋にて個展
 - 1997年 現代花鳥画展出品（松柏美術館）
 - 1998年 京都新鋭選抜展京都新聞社賞受賞
 - 現在 創画会所属

- 池田 啓子氏 略歴
- 1982年 吹禽荘（日本画家 上村淳之宅）に居住
 - 春季創画展入選（以後出品）
 - 1994年 個展（新宿京王）
 - 1999年 個展（熊本鶴屋）
 - 2006年 創画展入選（以後出品）
 - 2011年 個展（熊本県立美術館分館）
 - 現在 上村淳之に師事
 - 京都日本画家協会会員
 - 創画会所属

お客様ご紹介 & 他社会員乗り換えキャンペーン

ご紹介いただいた方に、いつでもご利用できる花の特別ご利用券10,000円をプレゼント！

※新しく会員になっていただいた方にはもしもの時の後でご利用できる「花の特別ご利用券10,000円」のプレゼント！
 ※他社に掛け金を積んでいる方や、もう満期になっている他社会員の方でも解約して、エヴァモア会員になれます。
 (解約手続き料はヌマザワが全額負担いたします)

新規
お客様

エヴァモア
倶楽部
ご入会

ご紹介
プレゼント

**花の特別ご利用券
10,000万円
プレゼント**

入会者様
プレゼント

乗り換え
お客様

さらに +

EVER MORE 美術館

**エヴァモアカード
会員様入館料無料**
(友引日限定)
カード提示で2名様まで

エヴァモア倶楽部 セミナーのお知らせ **エヴァモア自分史倶楽部の開催決定**

生前整理セミナーの際にお客様から「自分史講座をやってほしい」とのご要望がありました。「自分史」というと、成功した人が書くもの、生まれた時から現在まで書くもの、そんな風に思っていないませんか？誰にでも頑張ってきた人生があります。主役は自分自身です。一枚の写真から書く、簡単自分史入門講座を開催します。必要なのは写真一枚と思い出だけ。脳の活性化にもなる、楽しい自分史講座です。



日時、内容は後日お知らせします。

ヌマザワの 「終活に対する考え」

社会の状況

高齢者社会を迎えて多くの方々が、自らの死に対して身の処し方を前もって考えるようになっております。
 終活をテーマにした調査では、関心を持つ理由は「家族に迷惑をかけたくないから」と答えた方が多く、もしもの時には自ら葬儀の段取りや費用などを調べ決めておくことで家族の負担を減らそうと考えておられます。
 お葬式とは人間としての一番大切な命の尊厳であり、故人に対してもご家族にとっても、ご会葬いただいた方々へのありがたい場でもあります。
 様々なスタイルの葬儀が執り行われるようになって、その場合の家族の心情や、その後の親類縁者などへのお報せやお付き合いについても考えるヒントの投げかけが出来ればと思います。

終活セミナー・終活フェア

具体的な「例」や「体験」を基にした「話」を中心にコミュニケーションを図り、自らの葬儀についての考え方を整理して『納得』『共感』していただきます。

講師を招いての
「終活セミナー」

- ・生前整理セミナー
- ・エンディングノートセミナー
- ・遺影写真セミナー 等

事前相談員による
「相談会・ホール内覧会」

- ・事前相談会
- ・ホール見学会

安心と信頼の
「エヴァモア倶楽部」

- ・エヴァモア倶楽部
- ・JAエヴァモア倶楽部



浮田 美紀子さん
 クラデュース株式会社
 代表取締役
 一般社団法人
 生前整理普及協会
 生前整理アドバイザー
 認定指導員



生前整理はこれからの人生をより良く生きるため

感謝の言葉は今伝え、残すのは「応援メッセージ」

物は4分類して大切な物は「思い出箱」に

片づけからはじめる あたたかい生前整理

エヴァモア終活フェアでは、2回にわたり、一般社団法人 生前整理普及協会の認定指導員を招いて「生前整理セミナー」を開催しました。初回の講師は富山市から来てくださった、浮田美紀子さん。浮田さんは、生前整理を薦めたくて平成26年にクラデュース株式会社を設立しましたが、遺品整理の依頼が多いとのこと。遺品整理は残された家族にとっても心身とも重いものがかかえると感じるそうです。だから、生前整理をお勧めしています。

生前整理とは、生きることを前提に物、心、情報を整理すること。この順番がとても大事で、物から整理して、自分の人生の棚卸をしながら人生を振り返り、これからの人生を家族に残していくかを考えていくことです。生前整理をするためには、決断力、判断力、分別力、物の管理能力、体力が必要で、年齢を重ねるほどにこの力が衰えていくので、1日でも若いうちに取り掛かっていただきたい。今日がきっかけの日。始めるのは「今」です。

最初は、玄関、廊下、洗面、お風呂、トイレ、キッチンなど毎日使う狭いスペースから始めて、整理力をつけて達成感を感じてから、思い出の品がたくさんある手強い場所に取り掛かることが続けるコツです。ここ数年流行りの断捨離や整理法などは、どれも「いる」、「いない」の2分類ですが、日本人はどちらかというといまいいな方に美しさを感じる感性を持っているので、「いる」「いない」と「迷う」「移動」の魔法の4分類を薦めています。今使っている「いる」物、使っていない「いない」物、この場から別の場所に「移動」させる物、そして、また使

うかも、いつか使うかも、誰かつかえるかも、と頭の中に「かも」が思い浮かんだら「迷う」におきます。この迷った物は箱詰めして、半年間そのままにし、半年後にもう一回見直します。今使っていない物でも、思い出のつまっている物、大切な物は、「思い出箱」にしまいます。この「思い出箱」は自分が旅立った時に、ゴミとして処分してほしくないというようにする物で、箱の大きさはみかん箱一つ位が理想です。整理の中でもっとも手強いのがアルバム、写真です。写真は100枚だけを選んで、マイベストショットアルバムにします。

整理は1人で抱え込まないことです。お盆やお正月など、親族が集まる時に相談するのも一つのきっかけです。

また、エンディングノートはなかなか書けないという方も多いようです。人生を振り返り、現在の自分について書く、エターナルノートをお薦めしています。今の自分を見つめた上で情報の整理を進めていくと、これから自分のやりたいことが見えてきます。もし、3年後に旅立ちの日がきたら、自分はどう語りたいかイメージする。それがこれからの生き方になります。生前整理とは、より良く生きていくためのものです。今日から始めてみましょう。



佐藤 さちよさん
 一般社団法人 生前整理普及協会
 生前整理アドバイザー認定指導員
 2回目の講師の佐藤さんは介護、病院勤務、ご自身のお母様を見送られた後の後悔した経験などからアドバイス。



木野島 光美さん
株式会社グランディメモリー代表取締役
冠婚葬祭マナー研究所 代表
サービス助士 研修講師
フューネラルコーディネーター



東海林のリ子さんと共著
「失敗しないお葬式」

「立ち方、おじぎ、手の指し示し方」研修の成果は?!



葬儀は失敗の許されない究極のサービスです。立体的な空間能力は男性の方が優れていますが、女性は身近な距離感での対応や気づきが男性より多く、コミュニケーション能力も高いので、お客様の变化にもすぐに気づいてさしあげられます。また、お年寄りが多いので、お身体に触れても女性なら問題ありません。この仕事に向いていると思います。自分が気づかなかった感性が、お客様に対応することで感謝の言葉がいただけ、それだけモチベーションがあがっていく。いい環境の中でお仕事ができると思います。

ヌマザワさんには3年ほど前から研修講師を務めさせていただいてますが、リーダー格の女性も育成されていますが、リダー格の女性も育成されている人材が育っていると思います。今後も女性が司会も身の回りのお世話も中心になっていくと思います。

ヌマザワさんでも事前相談を行っています。お客様には積極的にご参加されることをお勧めします。悔いの残らないお葬式をあげるためにも、私の著書に葬儀社選びのポイントを記しています。お元気な時からお気軽に相談されるとよろしいと思います。

3ヶ月前の研修の「確認と復習」



講師の木野島光美さんインタビュー
私たちが起業した時は、葬祭業は男社会でしたし、「女性に何ができるんだ」とよく言われました。当時は都内でもご自宅、寺院での葬儀のために祭壇の設営などは男性の仕事でした。私たちが女性のプロ集団であることを葬儀社様に紹介した頃から、葬祭会館が建ち始めました。会館であれば、重労働の設営がないので女性でも充分対応できます。むしろ、ご遺族のお世話、会館の掃除、お食事のサービスなどは女性の方がいいので、当時の社会的背景ともうまくマッチングしていきました。最初に私どもの企業で女性が活躍するようになったおかげで、全国的に女性が普通に葬儀の仕事ができるようになったといっていました。



お客様からの「ありがとう」は、あなたがいてくれたて「安心できた」という意味あいの感謝の言葉です。お葬儀は女性の感性が活かされます。

平成8年に女性だけの葬儀コーディネーター会社、株式会社グランディメモリー（東京都新宿区）設立。キャスターだった木野島さんは、取材で「葬儀の仕事は悲しみを共有できる女性こそできる仕事」と感じたことが、会社設立のきっかけだそうです。

ヌマザワでは三年前から定期的に木野島さんに研修講師をお願いしています。今回は、3ヶ月前の研修の確認と復習をかねて、二日間、接遇と司会の指導をしていただきました。



Numazawa Corporate Philosophy

寄り添う心

「学ぶことが楽しい」

私の知識不足でお客様を不安にさせないように、1ヶ月前の自分より成長



渡辺 祐依
平成 29 年 4 月入社
東北文教大学人間科学学部
子ども教育学科卒



木野島先生の研修で立ち方、お辞儀の仕方、手の指し示し方などを学ぶ。日々の学びが成長の糧となる。

「研修で学ぶ大切さ」 一回では忘れてしまうこともある 学ぶ機会を与えてもらえるのは とても素晴らしいこと

recruit
Fresh



木村 光
平成 29 年 4 月入社
東北文教大学短期大学部
総合文化学科卒



— 仕事の内容は？

ホールスタッフなので、お葬儀によってエヴァホールとファミリエのどちらかに行きます。仕事は接客とお客様のご案内がメインです。

— 入社して約4ヶ月ですが？

最初の1ヶ月はほぼ研修で、その後いろいろなことを教わりながら日々の仕事に取り組んでいます。なかなか覚えられないことも多くて、上司や先輩方にはご迷惑をかけてばかりです。入社して学べたことは？

礼儀作法やお客様への言葉遣いは学ぶことが多いと思います。それと、時間の使い方の重要さを実感しています。言われたことをただやるのではなく、いつまでに何と何をやらなければならないか、いつまでに何をやらなければならないか、

— 仕事の内容は？

ホールを中心にご会葬の方々への接客、お客様のご案内です。最近はお通夜にもつかせていただき、少しずつお手伝いさせてもらっています。

— 入社して約4ヶ月ですが？

自分が思っていたほどには成長できていませんが、少しずつやれることが増えるように挑戦させてもらっています。もっと積極的に自分で進んでいかなければと思っています。

— 入社して学べたことは？

以前からわかっていたことですが、知識不足が全面に出てしまう仕事なので、日々、勉強が必要だと実感しています。学ぶ機会が多いことは楽しくもあります。宗派によって、また、

ければいけない等、先々まで見据えて時間配分を考え、優先順位を決めて仕事をこなさなければと痛感しています。

— 良かった経験は？

社会の厳しさを知ることです。甘んじていた自分と両親のありがたさを実感しました。感謝でいっぱいです。河北町から親元を離れて一人暮らしをして、帰ったら食事ができていたり、お風呂に入れることが当たり前じゃない、誰かと食事できることの幸せを感じています。

— これからの目標は？

いろいろなと学んで吸収し、成長していきたいです。当面の目標は、与えられた仕事を正確にこなし、気配りをしていきたいです。

— ご家族の境遇によつての作法、言葉使いなど、

本当に学ぶことが多く、1ヶ月前の自分からの程度成長できているか、ずっと勉強です。

— 実家を離れておじいちゃんとの暮らしは？

一人暮らしの祖父がいるから新庄での仕事という選択肢があつて、弊社との縁がなくなつたという思いがあります。祖父は一人でもできますし、生活で困ることはないのですが、仕事、お客様との対応の面で土地勘がないので困ることは多いです。

— これからの目標は？

お客様の心に寄り添いつつも、自分は冷静で柔軟に対応できるようになりたいです。知識があつたうえで寄り添う。勉強する機会がある会社なので成長できます。所作、人に対する想いは仕事の場を離れた時も役立つので、



「新庄まつりに感動した」
 みんな浴衣や法被を来て、街を
 ブラブラしたり、いい雰囲気だ

Blake Braden
 ブレイク・ブレデン
 (アメリカ)

2人が出演した「Let's go SHINJO」より

2人が帰国する前に、思い出の温泉旅行をしました。パトリックさん、ブレイクさん、母国での活躍をお祈りしています。それぞれの夢を叶えてください。そして、いつでも新庄に帰ってきてください。



新庄で出会った人たち、生徒たちもみんな人情
 いっぱいで、新庄が大好きです。それぞれの国に
 帰ったら、この経験を活かせるようにしたいと思
 います。そして、また新庄に帰ってきたいです。
 みなさん、その時は「おかえり」って迎えてくだ
 さいね。僕たちのもう一つのふるさととは新庄にな
 りました。ありがとう。

飲んだり、遊んだり、会社の行事に参加して素敵な思い出になった。
 DVDの映像は素晴らしい、新庄のいいPRだと思う。出られ
 たことはうれしい、ありがとうございます。

B・沼沢さんとは、撮影の時にはじめて会った。一日中撮影した
 後に飲み会でたくさん話をして、シャイだけど良い人だなと思っ
 た。社員もみんな優しい。撮影はドローン飛ばしたり、東京から
 女優が来たり、プロフェッショナルでした。新
 庄は第二の故郷はなのでうれしかった。
 12人から新庄の皆さんへメッセージをお願いします。

新庄に尊敬と感謝

Respect and Gratitude to Shinjo

—新庄に来る前と実際住んでみてどうでした？
 パトリック (以下P)：新庄と聞いてユーチューブ
 で調べたらしきりに雪が降っている映像でちょっと
 こわかった。でも、来てみたら、人々がみんな暖か
 くて、すぐに新庄の生活に慣れました。
 ブレイク (以下B)：叔母が日本人と結婚して日本
 に来たので興味があった。調べたらやっぱり雪が多
 くて寒いところかなと思った。実際に寒いけど人は
 みんな暖かいところだ。
 —ヌマザワの印象とDVDに出演しての感想は？
 P・沼沢さんは積極的な人だと思った。いっしょに

3年間、新庄、最上の高校で英語を教えてきた、パ
 ドリック・フォーリーさんとブレイク・ブレデンさ
 んがそれぞれの母国に8月に帰国することになりま
 した。2人とのご縁は、新庄まつり広報DVD
 「Let's Go SHINJO」に出演してくださったことから
 です。旅立ちの前に新庄での思い出を語り合いまし
 た。



Patrick Foley パトリック・フォーリー (カナダ)



「とりもつラーメンが好き」
 新庄まつりは素晴らしい！ああいう
 まつりは、カナダにはないので、
 メチャ感動した！！